



# 2025労働条件闘争 妥結集約(第二のヤマ場時点)

## 妥結概況

- 第二のヤマ場を終えた3月19日10時時点で、正社員(フルタイム)組合員は 183 組合、短時間(パートタイム)組合員は 115 組合、契約社員組合員は 24 組合が妥結した。合計 87 万人強の組合員の賃上げが決まった。
- 正社員組合員の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は 17,149 円(5.38%)、賃金引き上げ分(ベア等)は 12,237 円(3.80%)の引き上げとなっており、物価上昇を大きく上回り生活向上分を確保する賃上げを実現している。前年と比較できる 178 組合での比較ではほぼ前年並みの数字を確保しており、物価上昇を上回る賃上げの定着に向けた大きな一歩となった。
- 規模別では300人未満の組合の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)が 17,292 円(5.73%)と、300人以上の組合 17,145 円(5.37%)を上回り、中小企業においても高い賃上げが広がってきている。
- 短時間(パートタイム)組合員の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は 73.8 円(6.37%)の引き上げとなっており、10年連続で正社員組合員の引き上げを上回り雇用形態間格差是正の流れが定着している。

## 1. 賃金闘争

### (1) 正社員(フルタイム)組合員の妥結状況

- ① 製造産業部門は昨年より要求基準を引上げ、前年同組合比較の妥結総合計率は 5.67%と前年に比べ 0.46%上回っており、要求水準を上げた成果が出ている。流通部門、総合サービス部門は前年と同様の高い要求基準を維持して取り組み、前年微減の結果となっているものの引き続き高い妥結水準を維持している。
- ② 前年同時期との比較では、前年はUAゼンセンの要求基準を上回る高い要求を掲げ、満額妥結をした組合が多かったため、前年第二のヤマ場数値 17,949 円(5.87%、181 組合集計)を下回っている。しかし、本年も半数近い 76 組合で満額回答(内 18 組合が満額超)となっており、要求方針どおり物価上昇を上回る高い水準での賃上げが定着してきている。
- ③ 中核共闘組合(62 組合妥結)の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は 17,139 円(5.23%)であり、前年とほぼ同等の妥結結果で全体をけん引している。
- ④ 初任賃金は、高卒(111 組合)の平均は 208,459 円で 11,404 円(5.5%)の引き上げ、大卒(139 組合)の平均は 248,826 円で 12,921 円(5.2%)の引き上げとなっている。企業内最低賃金は 101 組合が 12,001 円(5.9%)の引き上げを獲得し平均が 204,532 円となった。

### 【部門別妥結状況】

		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計				賃金体系維持が明確な組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計					
		組合数 人数	要求		妥結		組合数 人数	要求		妥結	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純 平均	全体計	183組合	18,730	6.06	16,764	5.41	130組合	13,890	4.47	11,870	3.81
	製造産業部門	41組合	19,314	6.15	17,211	5.47	34組合	13,867	4.38	12,325	3.88
	流通部門	86組合	17,671	5.79	15,511	5.08	64組合	13,258	4.32	11,183	3.64
	総合サービス部門	56組合	19,927	6.41	18,361	5.89	32組合	15,180	4.87	12,759	4.07
加重 平均	全体計	297,123人	18,871	5.95	17,149	5.38	212,397人	13,874	4.34	12,237	3.80
	製造産業部門	59,511人	20,897	6.15	19,278	5.67	52,196人	14,637	4.33	13,766	4.06
	流通部門	176,691人	17,891	5.76	15,788	5.05	136,837人	13,299	4.24	11,454	3.63
	総合サービス部門	60,921人	19,732	6.32	19,015	6.05	23,364人	15,541	4.92	13,406	4.21

【規模別妥結状況】

		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計					賃金体系維持が明確な組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計				
		組合数 人数	要求		妥結		組合数 人数	要求		妥結	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	全体計	183組合	18,730	6.06	16,764	5.41	130組合	13,890	4.47	11,870	3.81
	300人以上	135組合	18,691	6.03	16,723	5.37	103組合	13,850	4.44	11,747	3.75
	300人未満	48組合	18,837	6.15	16,879	5.54	27組合	14,044	4.58	12,341	4.04
加重平均	全体計	297,123人	18,871	5.95	17,149	5.38	212,397人	13,874	4.34	12,237	3.80
	300人以上	289,811人	18,865	5.95	17,145	5.37	207,723人	13,869	4.33	12,232	3.79
	300人未満	7,312人	19,082	6.26	17,292	5.73	4,674人	14,122	4.58	12,460	4.07

【部門別前年同組合比較】

		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計					〈内〉賃金引き上げ分が明確にわかる組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計				
		組合数 人数	妥結		前年差		組合数 人数	妥結		前年差	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	全体計	178組合	16,715	5.38	837	0.11	125組合	11,827	3.78	980	0.20
	製造産業部門	41組合	17,211	5.47	2,215	0.57	34組合	12,325	3.88	2,338	0.65
	流通部門	84組合	15,521	5.08	885	0.11	62組合	11,166	3.63	1,056	0.23
	総合サービス部門	53組合	18,223	5.79	-306	-0.26	29組合	12,659	3.98	-776	-0.39
加重平均	全体計	295,662人	17,137	5.37	548	-0.02	210,936人	12,231	3.79	483	0.02
	製造産業部門	59,511人	19,278	5.67	2,066	0.46	52,196人	13,766	4.06	2,144	0.52
	流通部門	176,311人	15,790	5.05	188	-0.10	136,457人	11,455	3.63	-60	-0.14
	総合サービス部門	59,840人	18,975	6.02	100	-0.24	22,283人	13,392	4.17	-78	-0.19

【中核共闘前年同組合比較】

		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計					〈内〉賃金引き上げ分が明確にわかる組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計				
		組合数 人数	妥結		前年差		組合数 人数	妥結		前年差	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	62組合	17,005	5.27	589	0.01	55組合	12,109	3.79	957	0.18	
加重平均	187,874人	17,139	5.23	186	-0.11	153,807人	12,401	3.78	120	-0.10	

【初任賃金】

組合員規模 (正社員ベース)	2024水準		2025妥結内容		増額分	
	高卒	大卒	高卒	大卒	高卒	大卒
300人未満	195,773	231,274	208,730	245,671	12,190	13,775
平均値(円)						
組合数	28	37	27	35	24	34
300人以上	196,990	238,260	208,371	249,888	11,163	12,622
平均値(円)						
組合数	92	110	84	104	78	97
UAゼンセン計	196,706	236,502	208,459	248,826	11,404	12,921
平均値(円)						
組合数	120	147	111	139	102	131

※増額分は現行水準と妥結の両方記入した組合の集計

【企業内最低賃金】

組合員規模(正社員ベース)	2024水準	2025妥結内容	増額分
300人未満	192,964	207,122	11,232
平均値(円)			
組合数	32	30	25
300人以上	192,144	203,639	12,254
平均値(円)			
組合数	88	87	76
UAゼンセン計	192,362	204,532	12,001
平均値(円)			
組合数	120	117	101

※増額分は現行水準と妥結の両方記入した組合の集計

## (2) 短時間(パートタイム)組合員の妥結状況

- ① 妥結した115組合の総合計(制度昇給、ベア等込)は加重平均で73.8円(6.37%)の引き上げとなっており、前年第二のヤマ場70.3円(6.41%、126組合集計)を額では上回っている。なお、75組合で満額回答(内6組合が満額超)を獲得した。
- ② 妥結総合計は正社員の5.38%を大きく超え、第二のヤマ場時点としては10年連続上回り、雇用形態間格差の是正が一段進んでいる。なお、正社員とパートタイム組合員同時に妥結した101組合中82組合が正社員よりパートタイム組合員のほうが率で上回っている。
- ③ 前年と比較できる111組合の加重平均額は4.7円(0.08%)の増加となっている。
- ④ 中核共闘組合(41組合妥結)では総合計(制度昇給、ベア等込)が加重平均で72.7円(6.32%)の引き上げとなっており、同組合比較で前年より4.3円(0.06%)増加している。

### 【妥結状況】

		総合計(制度昇給、ベア等込)				
		組合数 人数	要求		妥結	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純 平均	全体計	115組合	82.8	6.93	75.4	6.30
	製造産業部門	0組合				
	流通部門	78組合	81.2	7.02	71.9	6.22
	総合サービス部門	37組合	86.2	6.75	82.8	6.47
加重 平均	全体計	572,726人	81.5	7.03	73.8	6.37
	製造産業部門	0人				
	流通部門	478,829人	82.9	7.19	74.9	6.51
	総合サービス部門	93,897人	74.4	6.26	67.7	5.67

### 【前年同組合比較】

		総合計(制度昇給、ベア等込)				
		組合数 人数	妥結		前年差	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純 平均	全体計	111組合	75.2	6.27	8.0	0.34
	製造産業部門	0組合				
	流通部門	76組合	71.6	6.20	8.7	0.44
	総合サービス部門	35組合	82.9	6.44	6.4	0.14
加重 平均	全体計	568,531人	73.7	6.36	4.7	0.08
	製造産業部門	0人				
	流通部門	475,569人	74.9	6.50	4.3	0.04
	総合サービス部門	92,962人	67.6	5.65	7.1	0.30

### 【中核共闘同組合比較】

	組合数 人数	総合計(制度昇給、ベア等込)			
		妥結		妥結同組合前年比	
		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	41組合	71.1	6.03	7.4	0.32
加重平均	424,556人	72.7	6.32	4.3	0.06

## (3) 契約社員組合員の妥結状況

- ① 妥結した24組合の総合計(制度昇給、ベア等込)は加重平均で12,260円(5.15%)の引き上げとなっている。
- ② 前年と比較できる23組合の総合計加重平均は前年を367円上回り、率では0.05%下回っている。

以上